

2002 年度事業活動報告

2002 年 11 月 1 日から 2003 年 3 月 31 日

活動報告

特定非営利活動法人日本ハビタット協会は、2002 年 10 月 17 日に内閣府から認証され、2002 年 11 月 1 日から法人としての活動を開始しました。活動の目的は、居住問題に対処する国連ハビタットの活動を日本国内に広く広報し、活動に対しての理解に努めることです。

今年度特筆できる活動は、特定非営利活動法人の法人格取得、任意団体の頃から続いている募金箱設置事業と、アフガニスタン再建復興への協力事業として、国連ハビタット福岡事務所と共同で行った、カブール北部のショマリ平原の、紛争で働き手を失った寡婦を対象とした住宅再建事業です。

1. 協力支援事業

(1) アフガニスタン再建復興支援事業

アフガニスタンの首都、カブールの北部にあるショマリ平原で、紛争で働き手を失った寡婦を対象とした住宅再建事業を実施しました。ショマリ平原はかつて、「カブールの果樹園」と呼ばれる美しい田園地帯でした。3 万家族が住んでいたこの地域は、タリバンと北部同盟の戦闘の最前線となったため、ほとんどの住宅が破壊されています。平和が戻り、難民や国外避難民が戻ってきましたが、紛争で働き手を失った女性や老人、障害者が戸主の家庭も多く、住宅の再建は困難です。



イスラム社会の多くでは、女性の土地や財産の所有権が認められていないため、女性の支援は特に重要です。私たちはショマリ平原のミルバチャコット地区に、女性が戸主である家庭（寡婦）のための住宅建設を行いました。この事業は、地域の長老組織「シュラ」の人たちの管理運営のもと、地域独特の建設様式・生活様式を尊重し、それぞれが工夫し自分たちが住みやすい住まいを建てるという方法で行われています。この住宅再建事業により、ショマリ平原の、未亡人を戸主とする中でも特に生活が困難な家族が、安定した生活を送るための基盤となる、定住の場を得ることができます。この事業は財団法人東京国際交流財団の助成により行われました。今年度も継続して行われています。



(2) ハビタットカレンダー2003

ショマリ平原の未亡人のための住宅再建事業に役立てるため、ハビタットカレンダー2003の配布を通して募金を行いました。カレンダー募金金額:3,081,200 円



(3)募金活動

募金事業の開始にあたり、あおぞら銀行より、募金箱として、貯金箱「アオ・ゾーラ」1万個をご寄付いただきました。

アフガニスタン等、紛争後地域の復興支援のための募金箱として配布しています。会員や一般市民、企業や学校を中心に、現在5000個ほどが配られており、多くの方から御協力を頂いています。

3月末現在の募金額 604,877 円



1. 広報・宣伝活動

(1) ニュースレター「まちづくり通信」

日本ハビタット協会の活動を周知していただくために、ニュースレター「まちづくり通信」を発行しています。多くの方々に協会の活動を理解していただくために、わかりやすい内容を心がけ、ご好評をいただいております。事業の拡大に伴い、発行部数も増えました。

発行部数: Vol.3 8000 部、 vol.4 10000 部



(2) リーフレット・チラシ類

配布数

特定非営利活動法人 日本ハビタット協会リーフレット 3000 部

国連ハビタット福岡事務所リーフレット 2100 部・子ども用 1500 部

アフガニスタン再建復興支援チラシ 4000 部

会員募集チラシ 3000 部

リーフレット・チラシ類は展示、イベント会場のほか、マリ・クリスティーヌ親善大使の職務上の講演会場等でも配布しました。

新規作成

カレンダー配布を通じた募金活動のための、郵便振替用紙つきパンフレットを一万部、また、日本ハビタット協会の会員を募る、郵便振替用紙つきのパンフレットを 1 万部作成しました。

(3) ホームページ

任意団体の際のホームページからリンクさせた、新しいホームページを作成しました。内容も、前回のものより増やし、より充実したものとなりました。今後は、書き換えも随時行っていく予定です。

<http://www.habitat.or.jp>



(4) ビデオ作成

アフガニスタンでの再建復興活動を広報するために、ビデオを作製しました。ボランティアによって編集されたもので、講演先などで上映しています。

3. 展示・イベント実施状況



2002年

11月20日	国連機関共同アピール	国連大学
--------	------------	------

2003年

2月2日	シティネットセミナー	横浜シンポジア
2月5-11日	さっぽろ雪まつり	ゆきまつり真駒内会場
3月6日	国連女性デー	国連大学
3月26日	水と都市に関する懇談会	ホテルニューオータニ博多

4. 組織活動

(1) 会員(2002年11月1日～2003年3月31日)

個人会員:29人 (他に「日本ハビタット協会」からの継続会員41人)

法人会員:4団体 (他に「日本ハビタット協会」からの継続法人会員5団体)

ボランティア会員(会費なし)10人

会員数は前年度より10%増、法人会員は同数という状況です。会員増加につながるよう
に会員募集チラシを作成し、配布を開始しました。

(2) 国連ハビタット推進議員連盟

2002年12月3日および2003年3月17日に行われた国連ハビタット推進議員連盟に参加
しました。

5. 講座開催

2003年3月26日、福岡の、ホテルニューオータニ博多にて、シンポジウム「水と都市に関する懇
談会」を行いました。第3回水フォーラムを受けて、国土交通省・福岡県・福岡市・国連ハビタット、
それぞれの役割と取り組みの報告がされました。この事業は、財団法人大和証券福祉財団の助
成によって行われました。

6. 事務局体制

(1) 事務局は2名の常勤スタッフと1名の非常勤スタッフで運営されました。

(2) 事務局機能の効率を上げるため、レイアウトなども工夫し、業務の分権化を行い、一
年間の業務を行いました。

福岡地区での業務も発生しており、福岡地区にも人員の配置が必要となりました。
福岡県、国連ハビタット福岡事務所のご協力により、福岡支部への人員配置の準備
を行っています